

## 第4回

長崎県の不動産市況動向(DI)に関するアンケート調査

基準日：平成30年6月1日

公益社団法人 全日本不動産協会長崎県本部  
公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会  
公益社団法人 長崎県不動産鑑定士協会

## はじめに

このたび、私共不動産関連3団体は、公益活動の一環として「長崎県不動産市場DI調査」を実施致しました。

当該調査は不動産市場の最前線で業務を行っている不動産業者にアンケートを行い価格・賃料・取引件数・開発案件数・投資利回り・空室率等の動向を調査・分析し、長崎県における不動産市場から見た景況動向を県内外へ広く発信することを目的としております。

当該調査は国土交通省の地価公示、都道府県の地価調査等の公的土地価格指標を補完する形で、全国のいくつかの都道府県不動産鑑定士協会等で調査・公表されており、昨今は公的土地価格にはない先行指標を表すものとして市場で重要視されています。今後九州・沖縄各県で統一指標を作成するために当該調査の成果が活用される予定です。

景気拡大に伴う東京・大阪等の大都市部での不動産価格の大幅な上昇の影響もあり、長崎市中心部などで地価上昇が鮮明になっているケースが目立つ一方で、人口減少が進んでいる過疎地域では依然として地価下落が進行しているケースも見られます。この1年間は、長崎県庁移転、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録、ジャパネットホールディングスによる三菱重工業長崎造船所幸町工場跡地でのサッカースタジアム建設計画発表、ふくおかフィナンシャルグループと十八銀行の統合計画に関する公正取引委員会の承認等、本県の経済動向や不動産価格に影響を与える様々な出来事が起こりました。これらは今回調査でも随所に影響が見られるようです。

最後に、本アンケートにご協力頂きました不動産業者の皆様に厚く御礼申し上げます。

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会  
会 長 三 上 浩 二  
公益社団法人 全日本不動産協会長崎県本部  
本 部 長 鬼 木 善 久  
公益社団法人 長崎県不動産鑑定士協会  
会 長 森 永 啓 次

平成 30 年 9 月 28 日

## もくじ

調査概要	1
調査基準日	2
調査方法	2
表の見方	2
連絡・お問い合わせ先	3
結果概要	4
アンケート調査票	7
問1. 事業所・支店の主な営業地域（取扱いが特に多い地域）	9
問2. 現在（平成30年6月1日）の価格及び賃料の動向の実感	10
問3. 半年後（平成30年12月1日）の価格及び賃料の動向の予測	16
問4. 現在（平成30年6月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数の実感	22
問5. 半年後（平成30年12月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数の予測	25
問6. 築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り	28
問7. 築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率	29
今回ご協力頂いた事業所一覧	30

## 1. 調査概要

### (1)DI

(注意) 今回の調査より九州・沖縄各県のDI調査と統一指標を作成するためDIの計算方法を変更しました。当資料記載の前回までのDI値は新しい方法で計算し直していますので、前回までの資料との比較の際にはご注意ください。

DI (diffusion index) は市況や景気動向について定性的な意見を集計し、上昇・下降または拡大・縮小の傾向を示す指数です。本調査では調査項目について、「上昇または増加」、「横ばい」、「下落または減少」、「不明」の各回答に占める「上昇または増加」の割合を表します。

DI は景気動向指数とも言われ、不動産市場における景況感を客観的数値で表すことが可能となります。DI がプラスであれば市況改善、DI がマイナスであれば市況悪化を示すと言われています。

$$DI = \frac{\text{「上昇または増加」回答数} - \text{「下落または減少」回答数}}{\text{「不明」を除く総回答数}} \times 100 (\%)$$

(「横ばい」回答の場合は上記の分母である総回答数には含まれるが、分子に含まない。)

#### 【計算例】

上昇の回答数 100  
横ばいの回答数 60  
下落の回答数 30  
不明の回答数 10

$$DI = \frac{\text{「上昇の回答数」} 100 - \text{「下落の回答数」} 30}{\text{「不明」を除く総回答数}(100+60+30)} \times 100 (\%) \doteq 36.8$$

### (2)年間投資利回り

不動産投資においては年間の全室入居を前提とした賃料収入総額から運営に係る各種の経費や空室損失を差し引いて得られる純利益を不動産の購入価格で除した投資利回りをもって投資の指標とすることが一般的です。

$$\begin{aligned} \text{年間賃料収入} - \text{修繕費} \cdot \text{維持管理費} \cdot \text{税金} \cdot \text{保険料} \cdot \text{空室損失等} &= \text{純利益} \\ \text{純利益} \div \text{不動産の購入価格} &= \text{年間投資利回り (純利回り)} \end{aligned}$$

上記の年間投資利回り（純利回り）は各不動産の種別・立地条件・築年・維持管理の程度等によって千差万別であり、どのような不動産を想定するかによって水準が大きく異なります。またその算出には精緻な作業が必要となります。

本調査では県内の不動産市場において最も一般的と思われる投資利回りを把握するため、投資用のアパートまたはマンションのうち築10年程度で立地条件が地域の標準的なレベルを想定し、各種の経費や空室損失を差し引く前のいわゆる粗利の年間投資利回りを調査対象としました。なお、一般的に投資リスクが低いほど利回りは低くなります。

$$\text{年間賃料収入} \div \text{不動産の購入価格} = \text{年間投資利回り（粗利回り）}$$

### (3) 空室率

空室率は全貸室のうちの空室の割合を言います。投資利回り同様、空室率も各不動産毎の種別・立地条件・築年・維持管理の程度等によって水準が大きく異なるため、本調査では投資用のアパートまたはマンションのうち築10年程度で立地条件が地域の標準的なレベルを想定した空室率を調査対象としました。

$$\text{空室} \div \text{全貸室} = \text{空室率}$$

## 2. 調査基準日

平成30年6月1日

## 3. 調査方法

- (1) 調査対象：長崎県に本社または営業拠点を有する不動産業者  
(長崎県宅地建物取引業協会会員及び全日本不動産協会長崎県本部会員) 1,027社
- (2) 調査方法：郵送および電子メールによる調査票の送付
- (3) 回答方法：FAX、電子メール
- (4) 回答率：34.4% (353社)

## 4. 表の見方

### (1) 問2～問5

①グラフは、「上昇または増加」、「横ばい」、「下落または減少」、「不明」の各構成割合を表します。(注1)

②集計表は、「回答数」、「DI値」を表します。(注2)

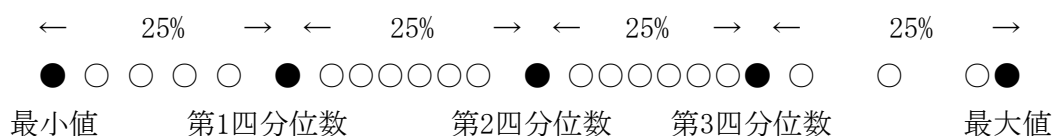
注1) 回答総数が少ない場合は、極端な構成割合となることがあります。また、見やすさを考慮し、整数で表示していますので合計値が100%にならない場合もあります。

注2) DI値は回答総数が多いほど精度が向上します。グラフと同様に回答総数が少ない場合においては、極端な数値となることがあります。

## (2)問6・問7

回答値の散布状況を四部位数で表しています。四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値であり、小さい方から順に第1四分位数(第2四分位数より下のゾーンにおける中央値)、第2四分位数(全データにおける中央値)、第3四分位数(第2四分位数より上のゾーンにおける中央値)と定義されます。

【イメージ図】 ○●は各データ



## 5. 連絡・お問い合わせ先

引用、転載等の場合は下記への事前のご連絡をお願い致します。

連絡先

公益社団法人 長崎県不動産鑑定士協会

095-822-3471

## 6. 結果概要

### (1) 総括

地価は都市部平坦地での上昇と斜面地での下落の対比が鮮明化。都市部で取引・開発件数の減少傾向が続く。大村の市況見通しは強気の反面、空室等リスクの潜在可能性あり。

価格については、都市部の商業地や住宅地（平坦地）では上昇または横ばいを示す回答が多かった。また、「大村」を除く全域で斜面地について下落の回答が増え、長崎や佐世保などの都市部では平坦地の上昇に対して斜面地の下落傾向が鮮明化している。住宅賃料については横ばい、店舗・事務所賃料は横ばいや下落を示す回答が多かった。いずれも項目においても「大村」の改善傾向が目立つ。

取引件数については、住宅地・商業地とも都市部では増加または横ばいの回答が多く、都市部以外では横ばいまたは減少を示す回答が多かった。一方で分譲地やマンションの開発件数については前回よりも横ばいないし減少を示す回答が多かった。

### (2) 各項目について

#### ①半年前と比較した現在の価格・賃料の動向についての実感

住宅地（平坦地）、商業地の価格動向については、殆どの地域においてDI値が前回比で上昇若しくは横ばいであり、特に「長崎」の商業地と「大村」の住宅地（平坦地）は回答の半数以上が上昇であった。平坦地が少ない長崎市や人口増加が続いている大村市では、地価上昇の拡大傾向が強まっていることが読み取れる。また「佐世保」・「諫早」の住宅地（平坦地）、商業地のDI値も調査開始以来一貫して上昇傾向を辿っている。

住宅地（斜面地）は、「大村」を除く全域でDI値はマイナスであり、総じて下落傾向が強くなっている。「大村」は横ばいのほかに上昇の回答も見られ、自由意見欄には『住宅開発できる平坦地が少なくなった』との記載があり、斜面地にも需要が拡大しつつある状況が考えられる。

「島原」・「壱岐・対馬・五島」では住宅地（平坦地）・住宅地（斜面地）・商業地ともDI値はマイナス圏域に留まっているが、自由意見欄には外国人観光客の急増している対馬において『民宿・商店については日本人に売るよりも韓国人に売る方が2割以上高い』という興味深い記載も見られた。

中古マンション価格は、「諫早」・「島原」を除く全域でDI値が前回比で下落しているが、「長崎」・「大村」では依然として上昇の回答数が多い。

住宅および店舗・事務所賃料については、「大村」を除く全域において横ばいまたは下落の回答が多く、DI値は前回より改善傾向が見られるもののマイナス若しくは0に留まっている。「大村」については住宅および店舗・事務所賃料とも横ばいないし上昇の回答も徐々に増えていることからDI値がプラスになっており、その他の地域よりもやや強含みの傾向が見られる。

## ②現在と比較した半年後の価格・賃料の動向についての予測

住宅地（平坦地）価格については、「長崎」・「佐世保・県北・西海・東彼杵郡」では、今回DI値が前回DI値よりも大きく上昇しており、先行きに対する強気の見方が続いている。「諫早」・「大村」は今回DI値が前回DI値よりも若干下落しているが、既に高い水準にあるため、強気の見方を保っていると考えられる。一方で住宅地（斜面地）価格については、「大村」を除く全域でDI値がマイナスであり、特に「長崎」・「壱岐・対馬・五島」では回答の6割以上が下落である。「大村」については、DI値がプラスであり、他のエリアでは弱気の見方が多い斜面地までも、先行きに対する強気の見方が示されている。中古マンション価格・賃料の予測については地域によりまちまちであるが、「大村」のDI値は前回より大きく上昇している。

自由意見欄では『スタジアム建設、期待大きい（長崎）』、『ジャパネットによるスタジアム建設の期待は大きく、北部地区幹線道路沿線の売り希望価格の上昇の傾向が認められる（長崎）』等、ジャパネットホールディングスによる三菱重工幸町工場跡地開発に対して期待を寄せる記載が長崎では多く見られる一方、他地域では『[スタジアム建設により] 県北と県央の格差が益々広がることは確実です（佐世保）』、『長崎へのスタジアム移転の影響で諫早市の活性化は益々失われていくのではと危惧しています（諫早）』といった記載も見られた。また『世界遺産認定による外国からの交流人口の増加による経済効果（島原）』、『世界遺産関連で、市況がいくらか良くなると思っています（平戸）』、『国境離島関連予算により期待する。世界遺産関係によりやや期待する。（五島）』と長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録に対する期待性を示す意見もいくつか見られた。

## ③半年前と比較した現在の取引・開発件数の増減についての実感

住宅地および戸建住宅取引件数のDI値は「長崎」・「諫早」・「島原」・「壱岐・対馬・五島」で前回よりも悪化傾向、「佐世保・県北・西海・東彼杵郡」・「大村」は前回よりも改善傾向と分かれており、分譲地またはマンション開発件数のDI値は「佐世保・県北・西海・東彼杵郡」以外の全域で改善傾向にあるが、プラスとマイナスの地域が混在しており、統一的な傾向が見えづらい。商業地の取引件数のDI値は全域でマイナスまたは0であり、取引物件数が少なくなっていると思われる。

自由意見欄には『新築用地、中古住宅の需要は多いが、供給できる数が少ない（長崎）』、『一時的なものと思われるが供給量が追いついていない（長崎）』、『中心部においては宅地分譲できる用地が少なくなり、宅地供給も減少したため、分譲マンションの計画が近年になく増加している（大村）』等の記載が見られ、都市部や人口増加地域では旺盛な需要に対して供給が少ないアンバランスな状況から取引件数が少なくなっていると推測される。

## ④現在と比較した半年後の取引・開発件数の増減についての予測

住宅地および戸建住宅取引件数のDI値は「長崎」・「佐世保・県北・西海・東彼杵郡」・



「大村」では前回比で改善傾向、「島原」では横ばい、「諫早」「壱岐・対馬・五島」では悪化傾向であった。商業地及び投資物件取引件数のDI値は全ての地域でDI値はマイナスであり、今後稀少な商業地は市場においてなかなか供給されないことを予想する向きが多い。分譲地またはマンション開発の件数は「長崎」・「佐世保・県北・西海・東彼杵郡」・「島原」でDIがマイナスであり、これら地域では今後開発素地等の不足が予想されている。

#### ⑤築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り

各回答データの中央値である第2四分位数については、「長崎」・「諫早」・「壱岐・対馬・五島」が8%台、「佐世保・県北・西海・東彼杵郡」・「島原」が9%台前半、「大村」が9%台後半であった。「大村」は地価の動きを示す各指標で強気の見方が多い反面、リスクを示す利回りは最も高い結果になった。大村地区の自由意見欄では『アパートの新築が過剰である』、『大村市は新幹線の効果が見られるが、工事が終わると一段落しそう。』など投資リスクを懸念する記載も見られた。

#### ⑥築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率

各回答データの中央値である第2四分位数については、「島原」が8%、「長崎」・「佐世保・県北・西海・東彼杵郡」・「壱岐・対馬・五島」が10%、「大村」が12%であった。上記投資利回り同様に「大村」は地価の動きを示す各指標で強気の見方が多い反面、空室率は最も高い結果になった。大村地区の自由意見欄では『賃貸物件については新規の供給が多いためか最近空室が増加しているように感じます』、『大村市はいまだ人口が微増しているが、見通しは明るくない。』など空室リスクを懸念する記載も見られた。

# 長崎県の不動産市況動向（DI）に関するアンケート調査票

（第4回 平成30年7月実施）

◆問1：最も取扱件数の多い所を A欄から1つ選択のうえ地区名の数字に○を付けて下さい。

※鉛筆での記入は回収時に文字が読み取りづらいため、ボールペン又はサインペン等でご記入願います。

地区名	A 欄
①長崎	長崎市・長与町・時津町
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	佐世保市・平戸市・松浦市・西海市・波佐見町・川棚町・東彼杵町・佐々町
③諫早	諫早市
④大村	大村市
⑤島原	島原市・雲仙市・南島原市
⑥壱岐・対馬・五島	五島市・壱岐市・対馬市・新上五島町・小値賀町

※ご回答者様の所属支部、商号をご記入ください

所属支部	商号	

以下の質問は、問1で回答された市区町（A欄）の状況について、日々の業務で感じる相場観にてご回答下さい。なお、業務上取り扱いがない項目については不明を選択してください。

◆問2：現在（平成30年6月1日）の土地価格及び賃料の動向について、半年前（平成29年12月1日）と比較してどのように感じておられますか。

- |            |     |     |      |     |     |
|------------|-----|-----|------|-----|-----|
| 住宅地（平坦地）価格 | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅地（斜面地）価格 | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 商業地価格      | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 中古マンション価格  | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅賃料       | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 店舗・事務所賃料   | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |

◆問3：半年後（平成30年12月1日）の土地価格及び賃料の動向は、現在（平成30年6月1日）と比較してどうなると予想されますか。

- |            |     |     |      |     |     |
|------------|-----|-----|------|-----|-----|
| 住宅地（平坦地）価格 | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅地（斜面地）価格 | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 商業地価格      | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 中古マンション価格  | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅賃料       | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 店舗・事務所賃料   | ——— | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |

→次ページへ続く

◆問4：現在（平成30年6月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、半年前（平成29年12月1日）と比較してどうなっていますか。

- 住宅地および戸建住宅取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
商業地および投資物件取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
分譲地またはマンション開発——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明

◆問5：半年後（平成30年12月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、現在（平成30年6月1日）と比較してどうなると予想されますか。

- 住宅地および戸建住宅取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
商業地および投資物件取引——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明  
分譲地またはマンション開発——①増加 ②横ばい ③減少 ④不明

◆問6：築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り（＝全室入居を前提とした年間賃料総収入÷物件成約価格）は平均何%位でしょうか。

- ① \_\_\_\_\_ % (小数点以下第1位までの表記でお願いいたします。例 8.5%) ②  
不明

◆問7：築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率は平均何%位でしょうか。

- ① \_\_\_\_\_ % (小数点以下第1位までの表記でお願いいたします。例 10.0%) ②  
不明

◆問8：自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

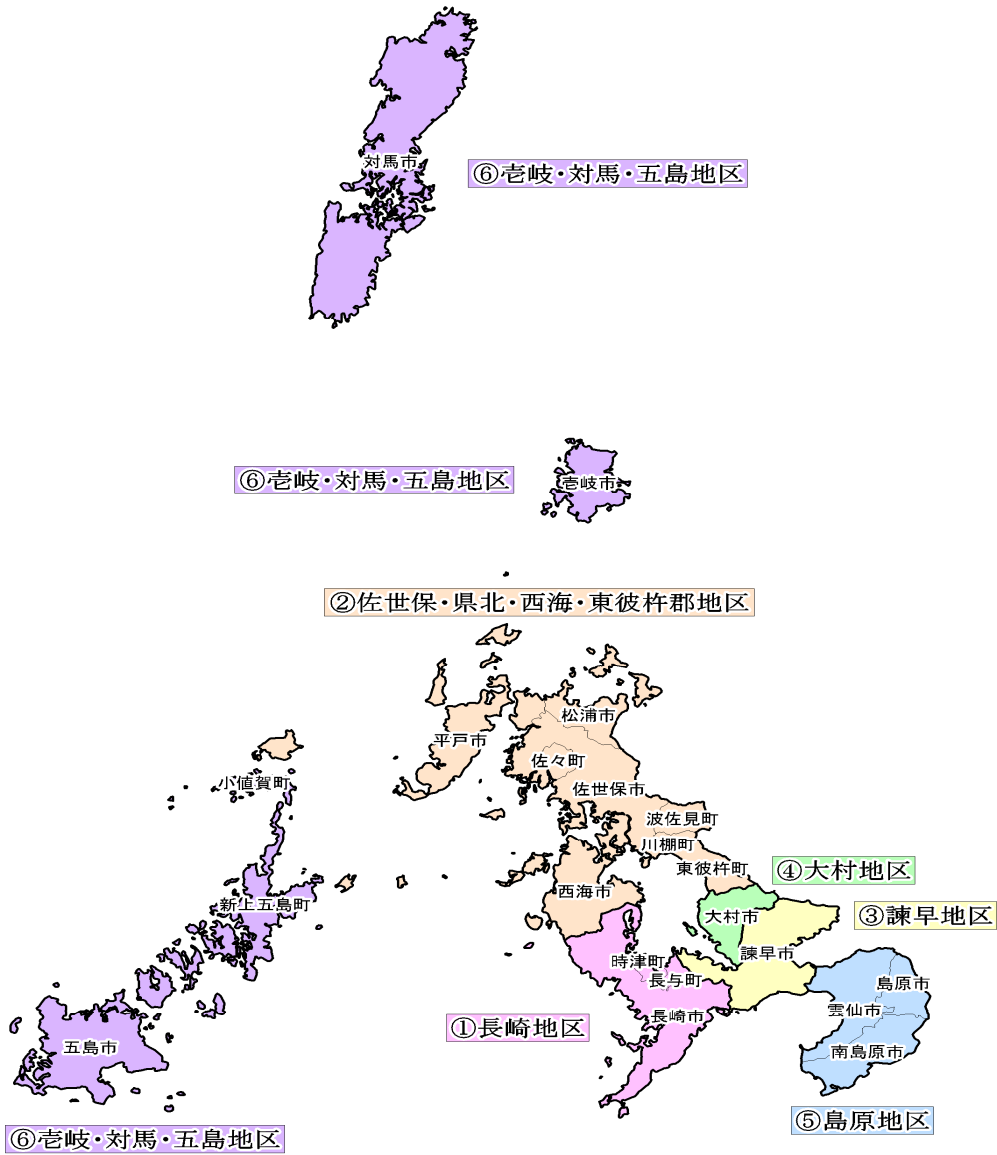
例：長崎県庁移転の効果、ジャパネットによるスタジアム建設の期待、人口減少の影響・・・等

◆問9：調査結果のインターネット公表および冊子に調査協力会社として貴社の社名を掲載してもよろしいですか。

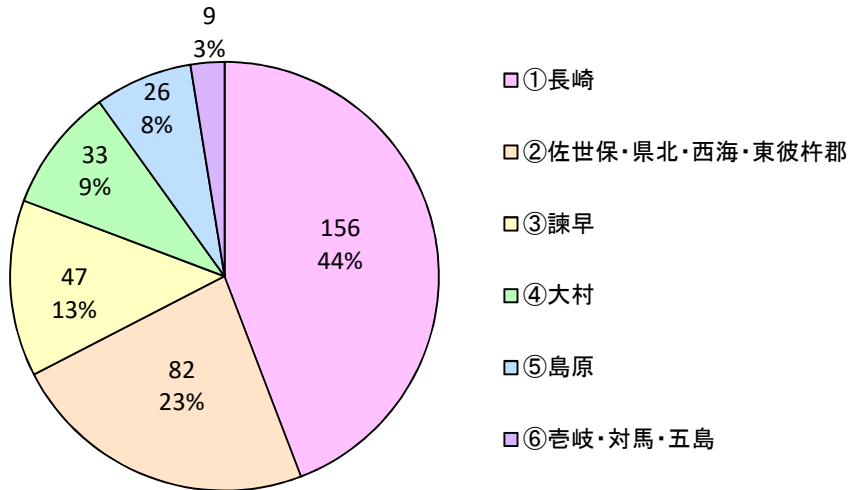
- ①はい ②いいえ

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。ご回答内容は集計データに反映させていただきますが、個々の会社様のご回答内容を公表するものではありません。ご回答頂いた会社様には集計データの冊子（自由意見欄を含む）を長崎県不動産鑑定士協会より送付いたします。

【問1】 最も取扱件数の多い地域はどこでしょうか。

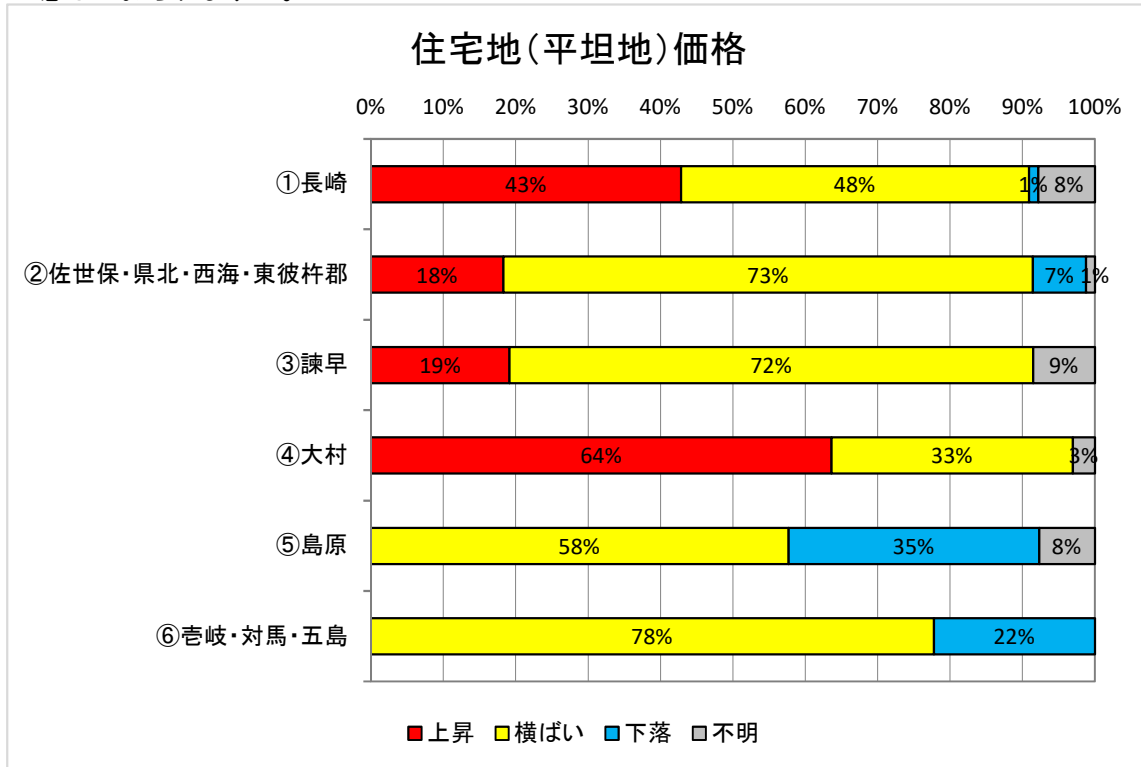


主な営業地域別回答数(353社)



【問2】

現在（平成30年6月1日）の価格及び賃料の動向について、半年前（平成29年12月1日）と比較してどのように感じておられますか。



### 回答数及びDI値

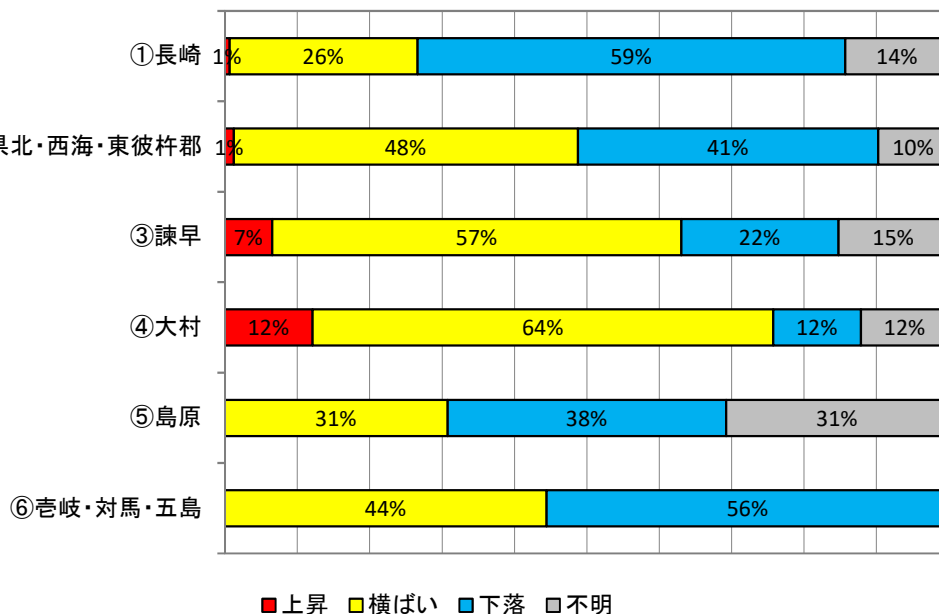
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	66	74	2	12	154	45.1	30.8	14.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	15	60	6	1	82	11.1	6.1	5.0
③諫早	9	34	0	4	47	20.9	11.8	9.2
④大村	21	11	0	1	33	65.6	57.1	8.5
⑤島原	0	15	9	2	26	-37.5	-33.3	-4.2
⑥壱岐・対馬・五島	0	7	2	0	9	-22.2	-57.1	34.9

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	13.9	35.1	30.8	45.1
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-15.9	4.3	6.1	11.1
③諫早	-9.4	-5.6	11.8	20.9
④大村	54.5	28.1	57.1	65.6
⑤島原	-40.9	-44.0	-33.3	-37.5
⑥壱岐・対馬・五島	-100.0	-57.1	-57.1	-22.2

## 住宅地(斜面地)価格

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



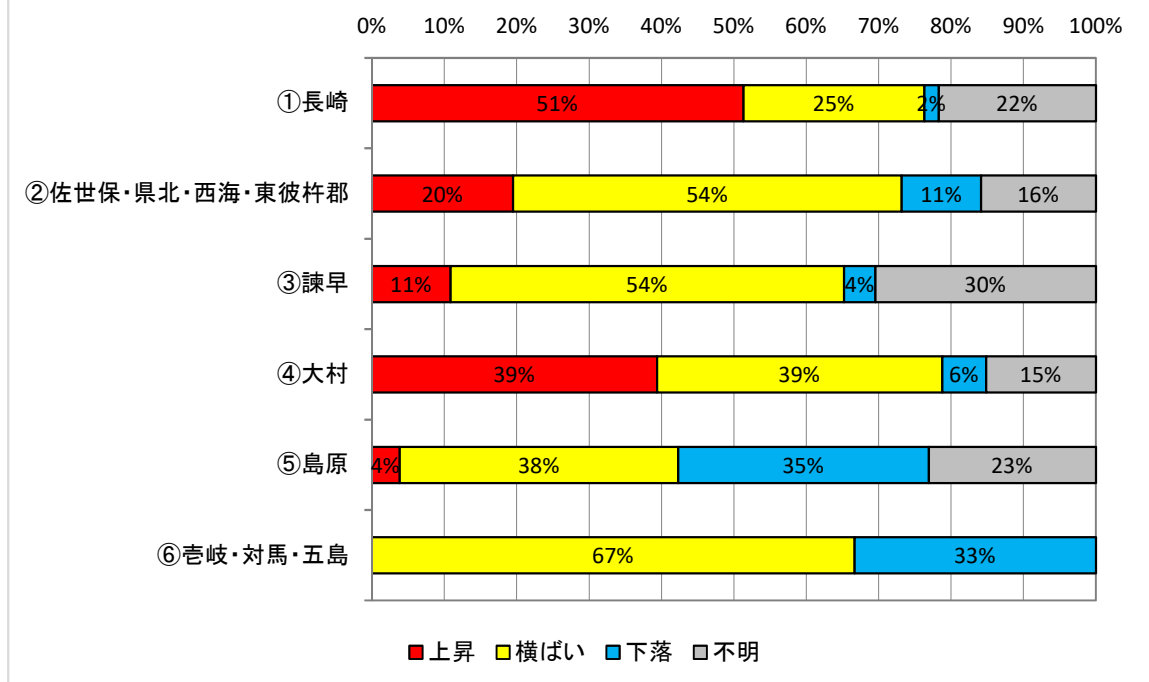
### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	1	40	91	22	154	-68.2	-66.4	-1.8
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	1	39	34	8	82	-44.6	-31.8	-12.8
③諫早	3	26	10	7	46	-17.9	-25.9	8.0
④大村	4	21	4	4	33	0.0	6.3	-6.3
⑤島原	0	8	10	8	26	-55.6	-70.6	15.0
⑥壱岐・対馬・五島	0	4	5	0	9	-55.6	-40.0	-15.6

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-70.4	-67.8	-66.4	-68.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-65.5	-60.0	-31.8	-44.6
③諫早	-44.8	-42.3	-25.9	-17.9
④大村	-25.0	-21.4	6.3	0.0
⑤島原	-50.0	-64.7	-70.6	-55.6
⑥壱岐・対馬・五島	-100.0	-100.0	-40.0	-55.6

## 商業地価格



### 回答数及びDI値

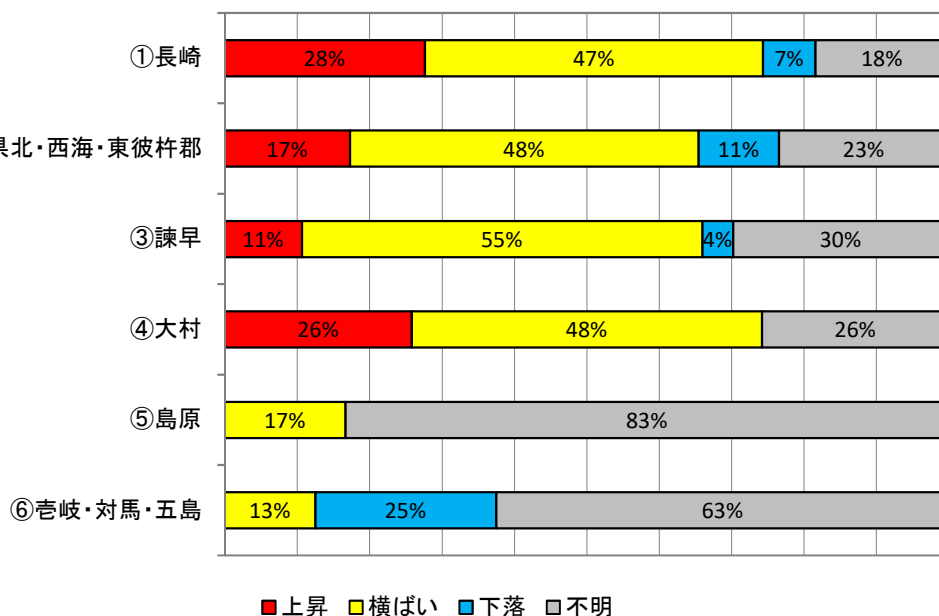
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	78	38	3	33	152	63.0	50.5	12.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	16	44	9	13	82	10.1	2.5	7.6
③諫早	5	25	2	14	46	9.4	16.0	-6.6
④大村	13	13	2	5	33	39.3	40.7	-1.5
⑤島原	1	10	9	6	26	-40.0	-50.0	10.0
⑥壱岐・対馬・五島	0	6	3	0	9	-33.3	-50.0	16.7

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	23.3	43.8	50.5	63.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-16.7	5.4	2.5	10.1
③諫早	-27.3	-18.5	16.0	9.4
④大村	5.0	4.3	40.7	39.3
⑤島原	-31.6	-23.8	-50.0	-40.0
⑥壱岐・対馬・五島	-80.0	-83.3	-50.0	-33.3

## 中古マンション価格

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 回答数及びDI値

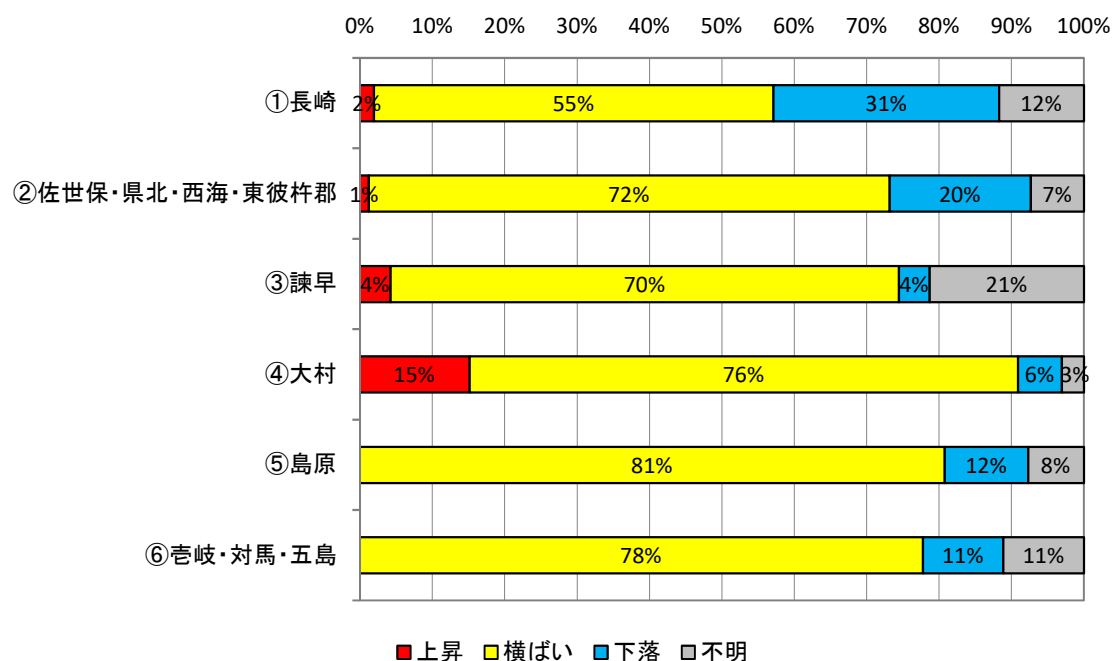
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	42	71	11	28	152	25.0	33.0	-8.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	14	39	9	19	81	8.1	30.6	-22.5
③諫早	5	26	2	14	47	9.1	7.4	1.7
④大村	8	15	0	8	31	34.8	37.5	-2.7
⑤島原	0	4	0	20	24	0.0	-66.7	66.7
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	2	5	8	-66.7	-33.3	-33.3

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	14.0	27.8	33.0	25.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-11.8	-8.0	30.6	8.1
③諫早	-4.5	-3.8	7.4	9.1
④大村	18.8	13.6	37.5	34.8
⑤島原	-33.3	-25.0	-66.7	0.0
⑥壱岐・対馬・五島	-50.0	-75.0	-33.3	-66.7



## 住宅賃料



### 回答数及びDI値

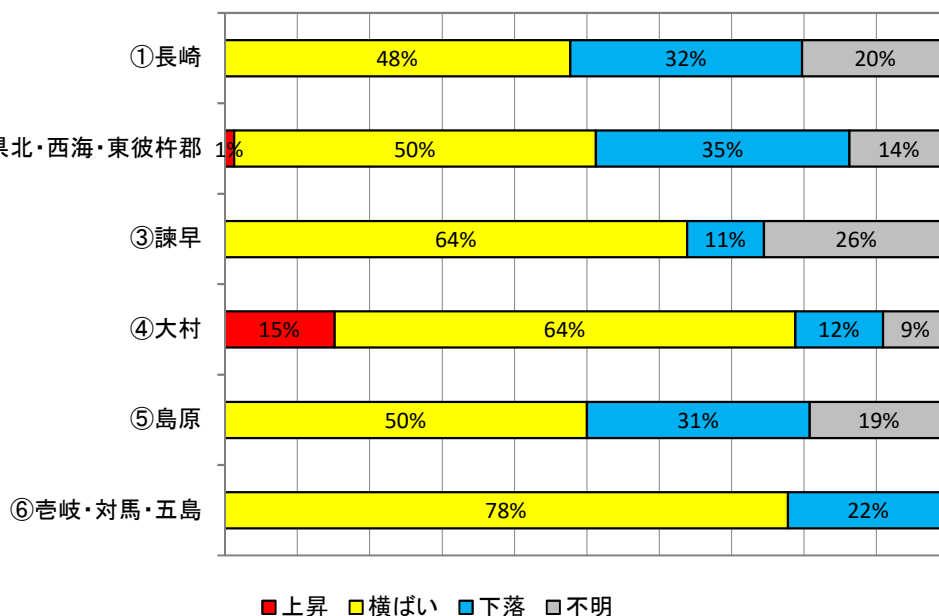
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	3	85	48	18	154	-33.1	-28.5	-4.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	1	59	16	6	82	-19.7	-25.6	5.8
③諫早	2	33	2	10	47	0.0	-6.3	6.3
④大村	5	25	2	1	33	9.4	-3.4	12.8
⑤島原	0	21	3	2	26	-12.5	-22.2	9.7
⑥壱岐・対馬・五島	0	7	1	1	9	-12.5	0.0	-12.5

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-21.4	-19.0	-28.5	-33.1
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-39.7	-24.6	-25.6	-19.7
③諫早	-30.0	-18.8	-6.3	0.0
④大村	-15.0	-17.9	-3.4	9.4
⑤島原	-12.0	-24.0	-22.2	-12.5
⑥壱岐・対馬・五島	-40.0	-14.3	0.0	-12.5

## 店舗・事務所賃料

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 回答数及びDI値

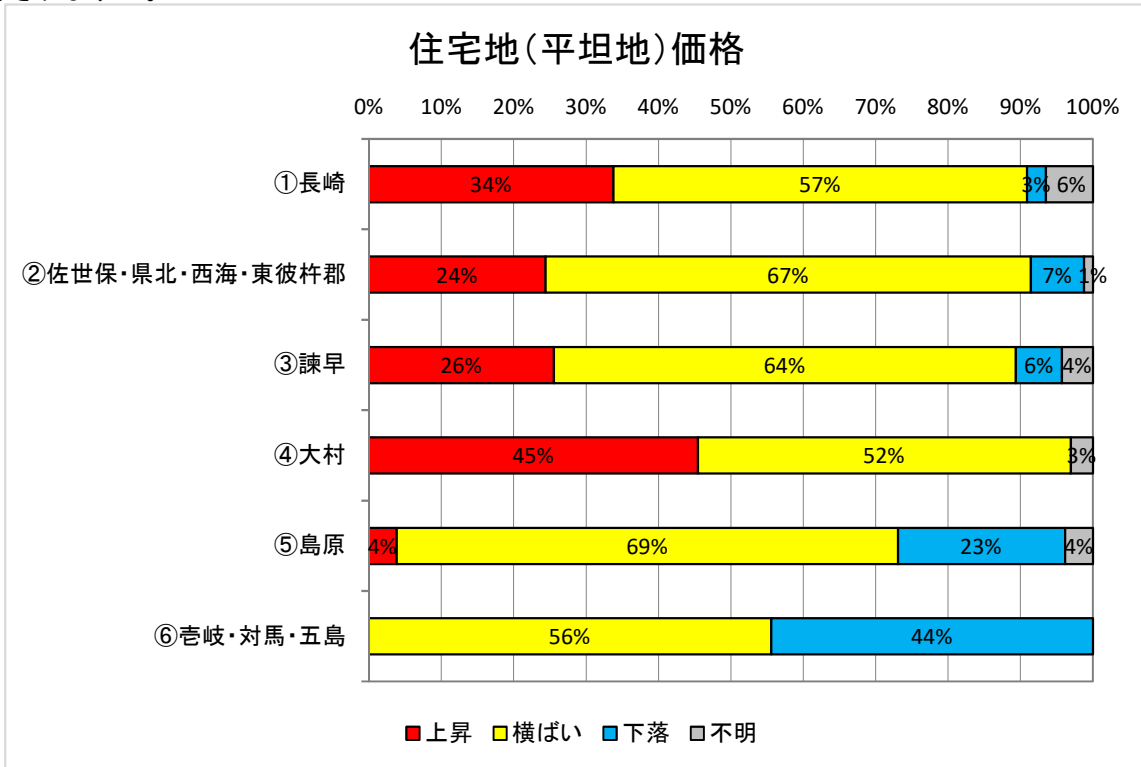
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	0	73	49	31	153	-40.2	-46.0	5.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	1	40	28	11	80	-39.1	-51.3	12.2
③諫早	0	30	5	12	47	-14.3	-27.6	13.3
④大村	5	21	4	3	33	3.3	-3.7	7.0
⑤島原	0	13	8	5	26	-38.1	-57.1	19.0
⑥壱岐・対馬・五島	0	7	2	0	9	-22.2	-33.3	11.1

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-52.3	-41.5	-46.0	-40.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-62.5	-48.1	-51.3	-39.1
③諫早	-62.1	-45.2	-27.6	-14.3
④大村	-35.0	-22.7	-3.7	3.3
⑤島原	-47.8	-47.6	-57.1	-38.1
⑥壱岐・対馬・五島	-80.0	-28.6	-33.3	-22.2

【問3】

半年後（平成30年12月1日）の価格及び賃料の動向は、現在（平成30年6月1日）と比較してどうなると予想されますか。



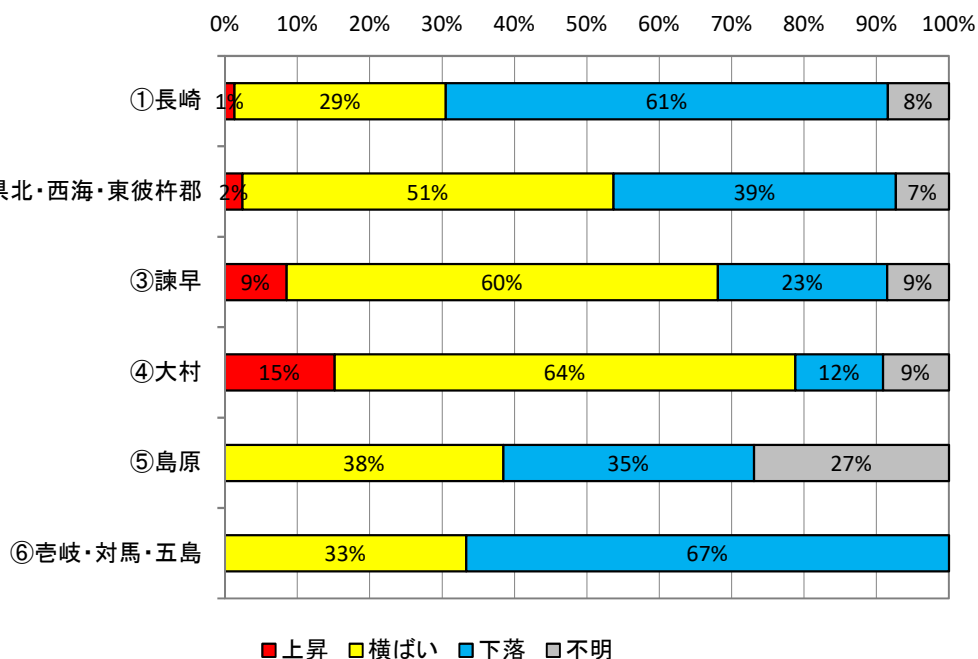
### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	52	88	4	10	154	33.3	23.7	9.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	20	55	6	1	82	17.3	8.2	9.1
③諫早	12	30	3	2	47	20.0	21.2	-1.2
④大村	15	17	0	1	33	46.9	51.4	-4.6
⑤島原	1	18	6	1	26	-20.0	-33.3	13.3
⑥壱岐・対馬・五島	0	5	4	0	9	-44.4	-50.0	5.6

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	7.3	20.8	23.7	33.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-17.5	1.4	8.2	17.3
③諫早	-6.1	-5.6	21.2	20.0
④大村	45.5	18.8	51.4	46.9
⑤島原	-40.9	-25.0	-33.3	-20.0
⑥壱岐・対馬・五島	-60.0	-42.9	-50.0	-44.4

## 住宅地(斜面地)価格



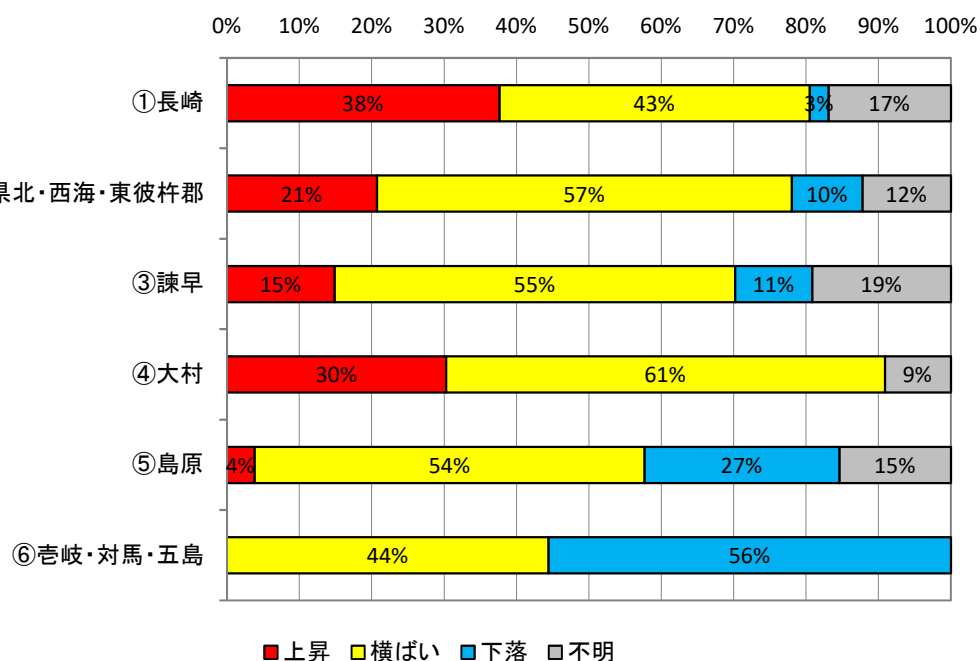
### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	2	45	94	13	154	-65.2	-62.9	-2.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	2	42	32	6	82	-39.5	-34.8	-4.7
③諫早	4	28	11	4	47	-16.3	-29.6	13.4
④大村	5	21	4	3	33	3.3	15.2	-11.8
⑤島原	0	10	9	7	26	-47.4	-52.9	5.6
⑥壱岐・対馬・五島	0	3	6	0	9	-66.7	-40.0	-26.7

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-69.5	-68.0	-62.9	-65.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-60.3	-48.5	-34.8	-39.5
③諫早	-40.0	-38.5	-29.6	-16.3
④大村	-10.0	-3.3	15.2	3.3
⑤島原	-55.6	-50.0	-52.9	-47.4
⑥壱岐・対馬・五島	-50.0	-80.0	-40.0	-66.7

## 商業地価格



### 回答数及びDI値

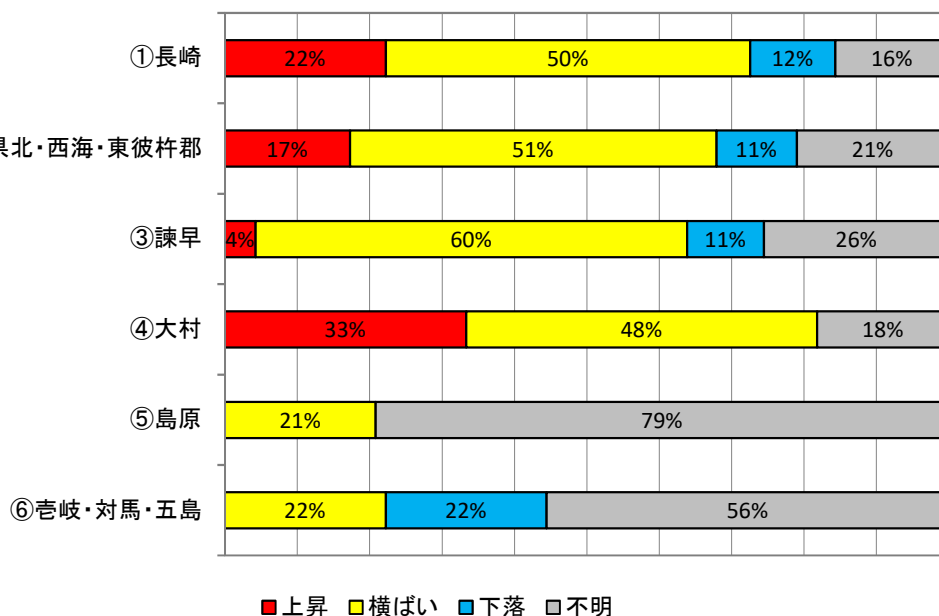
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	58	66	4	26	154	42.2	28.8	13.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	17	47	8	10	82	12.5	-14.3	26.8
③諫早	7	26	5	9	47	5.3	7.7	-2.4
④大村	10	20	0	3	33	33.3	28.6	4.8
⑤島原	1	14	7	4	26	-27.3	-43.8	16.5
⑥壱岐・対馬・五島	0	4	5	0	9	-55.6	-40.0	-15.6

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	21.7	31.9	28.8	42.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-24.5	-6.7	-14.3	12.5
③諫早	-18.5	-18.5	7.7	5.3
④大村	-5.3	0.0	28.6	33.3
⑤島原	-47.4	-18.2	-43.8	-27.3
⑥壱岐・対馬・五島	-80.0	-66.7	-40.0	-55.6

## 中古マンション価格

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



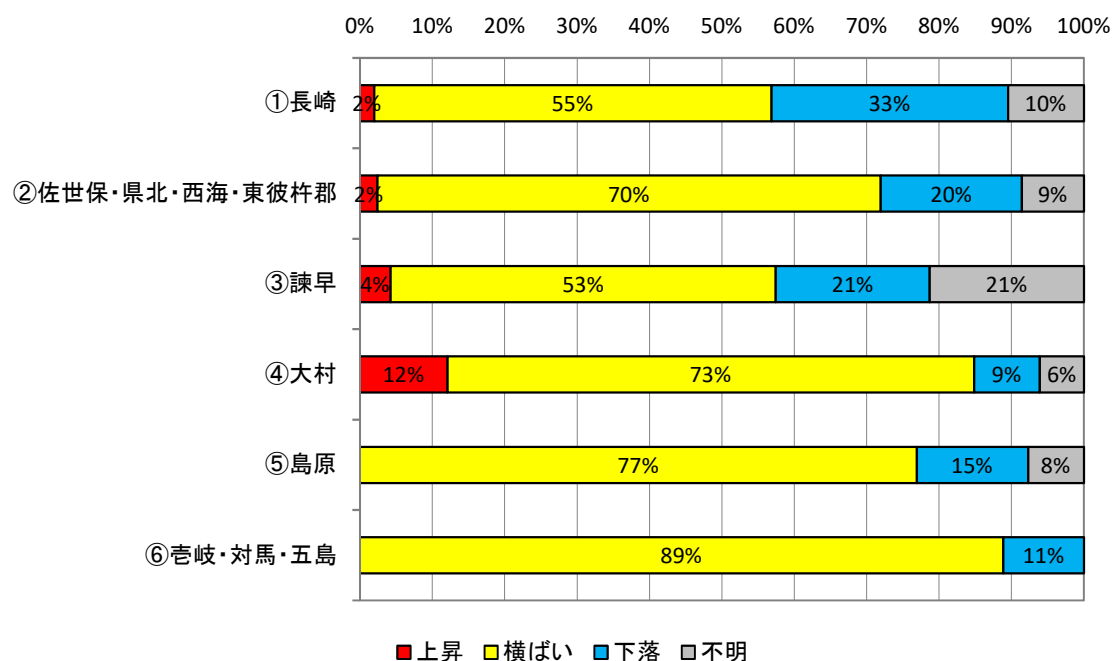
### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	34	77	18	24	153	12.4	10.0	2.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	14	41	9	17	81	7.8	5.3	2.5
③諫早	2	28	5	12	47	-8.6	-3.7	-4.9
④大村	11	16	0	6	33	40.7	19.2	21.5
⑤島原	0	5	0	19	24	0.0	-100.0	100.0
⑥壱岐・対馬・五島	0	2	2	5	9	-50.0	-25.0	-25.0

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	1.8	14.2	10.0	12.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-25.9	-5.6	5.3	7.8
③諫早	-33.3	-16.7	-3.7	-8.6
④大村	35.3	8.7	19.2	40.7
⑤島原	-63.6	-27.3	-100.0	0.0
⑥壱岐・対馬・五島	-33.3	-75.0	-25.0	-50.0

## 住宅賃料



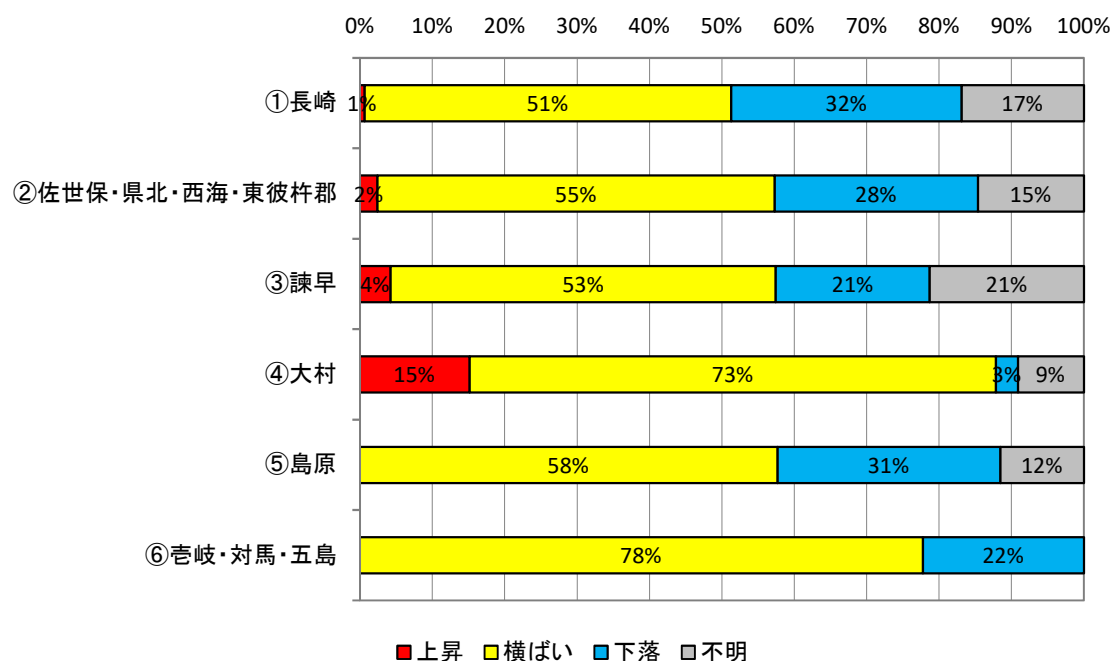
### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	3	84	50	16	153	-34.3	-24.2	-10.1
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	2	57	16	7	82	-18.7	-30.2	11.6
③諫早	2	25	10	10	47	-21.6	-20.0	-1.6
④大村	4	24	3	2	33	3.2	-6.9	10.1
⑤島原	0	20	4	2	26	-16.7	-11.1	-5.6
⑥壱岐・対馬・五島	0	8	1	0	9	-11.1	-40.0	28.9

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-19.8	-21.7	-24.2	-34.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-36.8	-23.8	-30.2	-18.7
③諫早	-25.8	-21.2	-20.0	-21.6
④大村	-20.0	-10.7	-6.9	3.2
⑤島原	-26.9	-19.2	-11.1	-16.7
⑥壱岐・対馬・五島	-20.0	-28.6	-40.0	-11.1

## 店舗・事務所賃料



## 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	1	78	49	26	154	-37.5	-40.5	3.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	2	45	23	12	82	-30.0	-41.0	11.0
③諫早	2	25	10	10	47	-21.6	-37.0	15.4
④大村	5	24	1	3	33	13.3	-7.4	20.7
⑤島原	0	15	8	3	26	-34.8	-28.6	-6.2
⑥壱岐・対馬・五島	0	7	2	0	9	-22.2	-20.0	-2.2

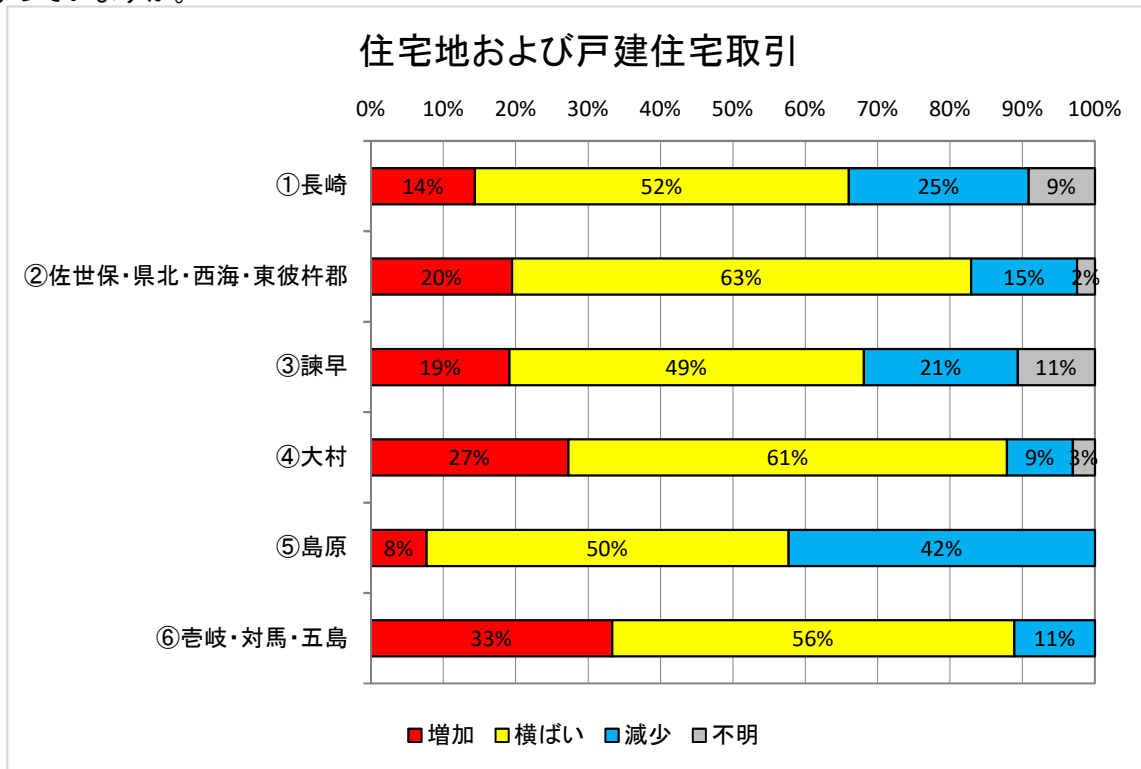
## 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-47.1	-35.1	-40.5	-37.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-55.4	-40.4	-41.0	-30.0
③諫早	-43.3	-29.0	-37.0	-21.6
④大村	-20.0	-12.5	-7.4	13.3
⑤島原	-37.5	-39.1	-28.6	-34.8
⑥壱岐・対馬・五島	-40.0	-42.9	-20.0	-22.2



【問4】

現在（平成30年6月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、半年前（平成29年12月1日）と比較してどうなっていますか。



#### 回答数及びDI値

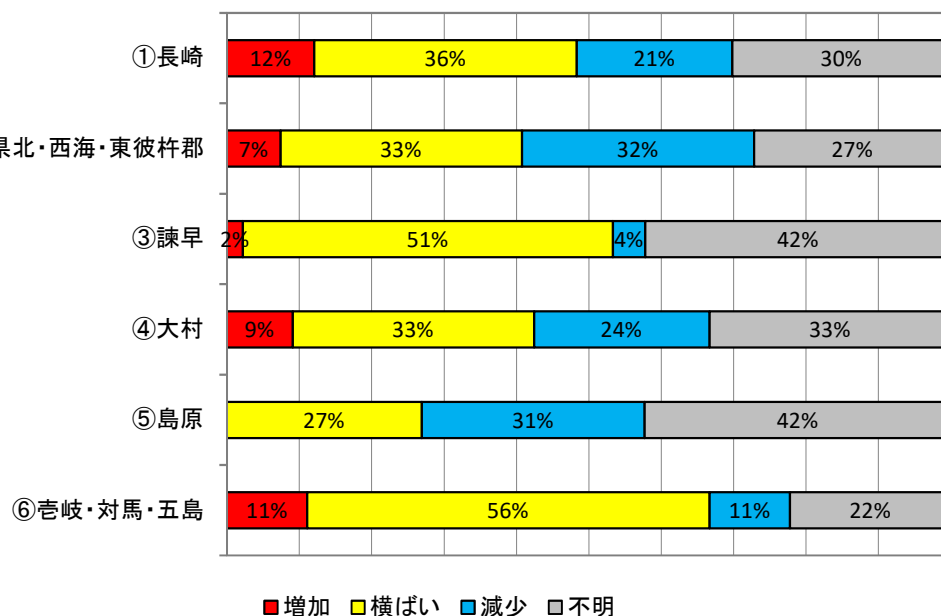
エリア	増加	横ばい	減少	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	22	79	38	14	153	-11.5	0.8	-12.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	16	52	12	2	82	5.0	4.2	0.8
③諫早	9	23	10	5	47	-2.4	19.4	-21.8
④大村	9	20	3	1	33	18.8	9.1	9.7
⑤島原	2	13	11	0	26	-34.6	-20.0	-14.6
⑥壱岐・対馬・五島	3	5	1	0	9	22.2	28.6	-6.3

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-10.4	-8.7	0.8	-11.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-4.8	-4.3	4.2	5.0
③諫早	-21.9	17.1	19.4	-2.4
④大村	22.7	9.4	9.1	18.8
⑤島原	-30.4	-23.1	-20.0	-34.6
⑥壱岐・対馬・五島	-40.0	0.0	28.6	22.2

## 商業地および投資物件取引

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 回答数及びDI値

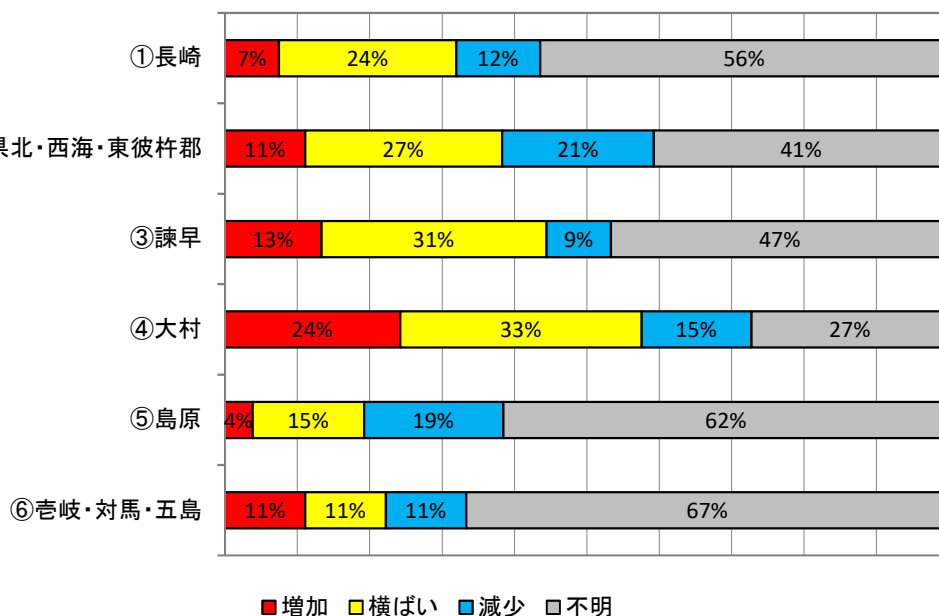
エリア	増加	横ばい	減少	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	18	54	32	45	149	-13.5	-11.0	-2.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	6	27	26	22	81	-33.9	3.2	-37.1
③諫早	1	23	2	19	45	-3.8	0.0	-3.8
④大村	3	11	8	11	33	-22.7	-14.3	-8.4
⑤島原	0	7	8	11	26	-53.3	-63.6	10.3
⑥壱岐・対馬・五島	1	5	1	2	9	0.0	-25.0	25.0

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-23.3	-19.6	-11.0	-13.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-15.0	-6.1	3.2	-33.9
③諫早	-27.8	-6.7	0.0	-3.8
④大村	-17.6	-11.1	-14.3	-22.7
⑤島原	-47.4	-62.5	-63.6	-53.3
⑥壱岐・対馬・五島	-100.0	-60.0	-25.0	0.0

## 分譲地またはマンション開発

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## 回答数及びDI値

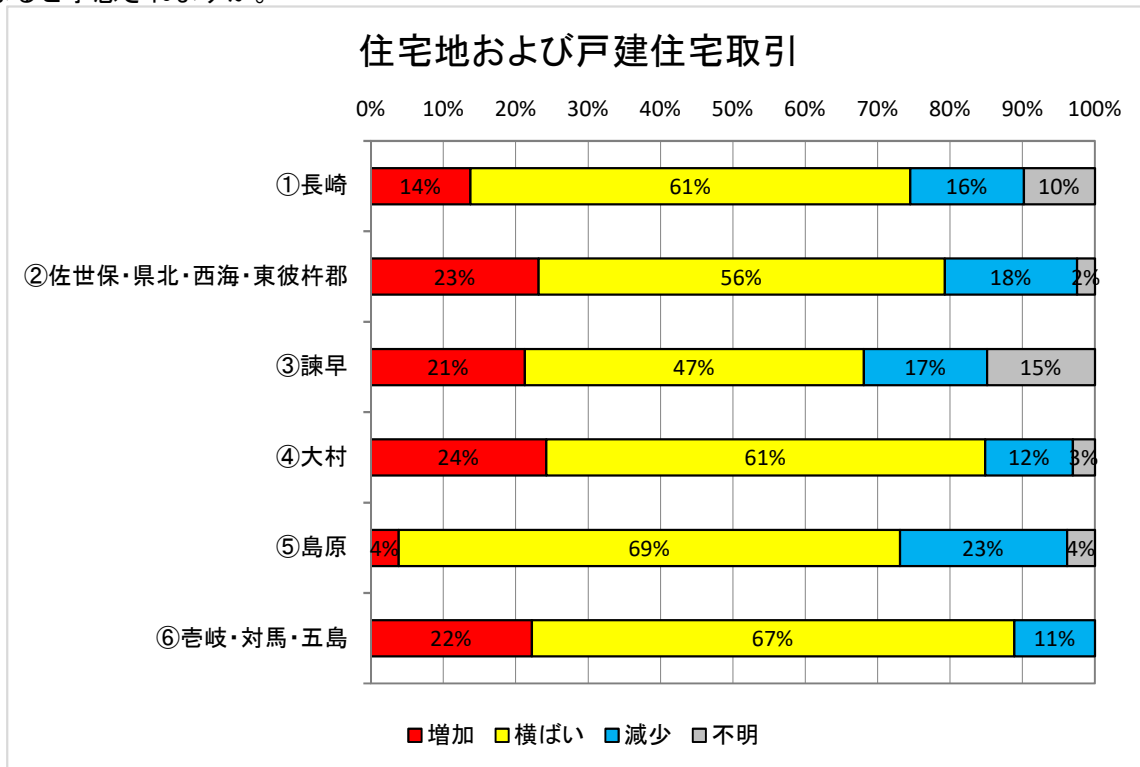
エリア	増加	横ばい	減少	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	11	36	17	83	147	-9.4	-10.8	1.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	9	22	17	33	81	-16.7	-15.4	-1.3
③諫早	6	14	4	21	45	8.3	6.3	2.1
④大村	8	11	5	9	33	12.5	-10.5	23.0
⑤島原	1	4	5	16	26	-40.0	-57.1	17.1
⑥壱岐・対馬・五島	1	1	1	6	9	0.0	-40.0	40.0

## 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-24.2	-15.3	-10.8	-9.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-21.6	-2.9	-15.4	-16.7
③諫早	-11.8	8.7	6.3	8.3
④大村	-7.7	10.0	-10.5	12.5
⑤島原	-53.3	-30.8	-57.1	-40.0
⑥壱岐・対馬・五島	-66.7	-40.0	-40.0	0.0

【問5】

半年後（平成30年12月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、現在（平成30年6月1日）と比較してどうなると予想されますか。



### 回答数及びDI値

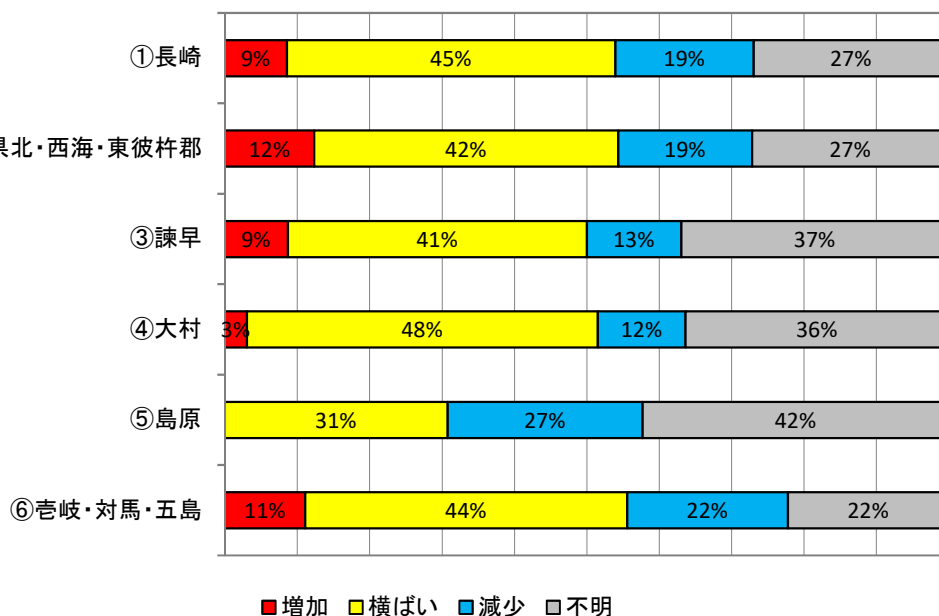
エリア	増加	横ばい	減少	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	21	93	24	15	153	-2.2	-5.8	3.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	19	46	15	2	82	5.0	-4.3	9.3
③諫早	10	22	8	7	47	5.0	32.3	-27.3
④大村	8	20	4	1	33	12.5	9.7	2.8
⑤島原	1	18	6	1	26	-20.0	-20.0	0.0
⑥壱岐・対馬・五島	2	6	1	0	9	11.1	20.0	-8.9

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-8.2	-4.9	-5.8	-2.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	1.6	-8.8	-4.3	5.0
③諫早	10.3	7.9	32.3	5.0
④大村	23.8	6.5	9.7	12.5
⑤島原	-25.0	-15.4	-20.0	-20.0
⑥壱岐・対馬・五島	-40.0	-14.3	20.0	11.1

## 商業地および投資物件取引

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 回答数及びDI値

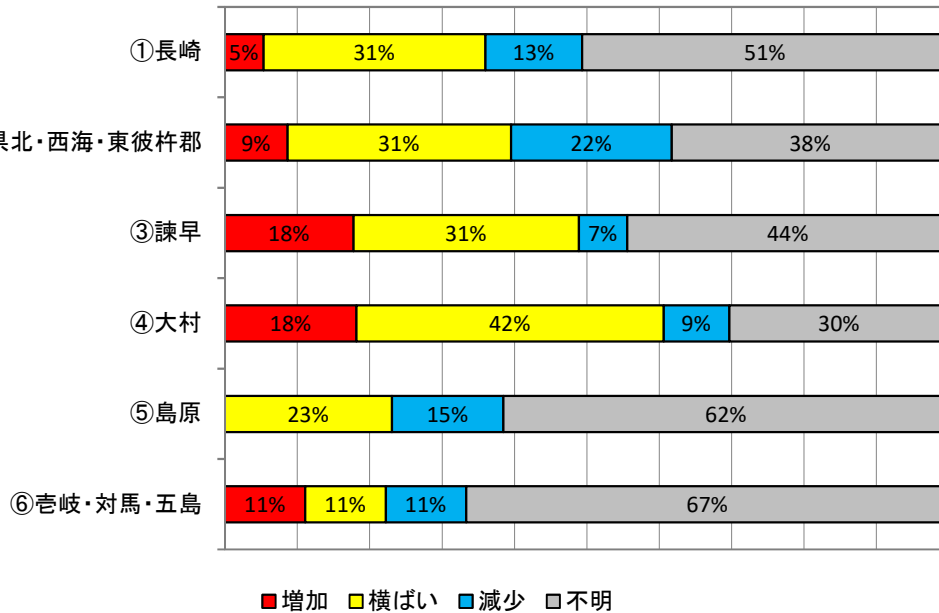
エリア	増加	横ばい	減少	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	13	69	29	41	152	-14.4	-19.8	5.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	10	34	15	22	81	-8.5	-20.0	11.5
③諫早	4	19	6	17	46	-6.9	17.4	-24.3
④大村	1	16	4	12	33	-14.3	0.0	-14.3
⑤島原	0	8	7	11	26	-46.7	-72.7	26.1
⑥壱岐・対馬・五島	1	4	2	2	9	-14.3	-25.0	10.7

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-21.5	-18.1	-19.8	-14.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-20.5	-14.6	-20.0	-8.5
③諫早	-15.0	-3.6	17.4	-6.9
④大村	10.5	0.0	0.0	-14.3
⑤島原	-55.6	-56.3	-72.7	-46.7
⑥壱岐・対馬・五島	-100.0	-40.0	-25.0	-14.3

## 分譲地またはマンション開発

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 回答数及びDI値

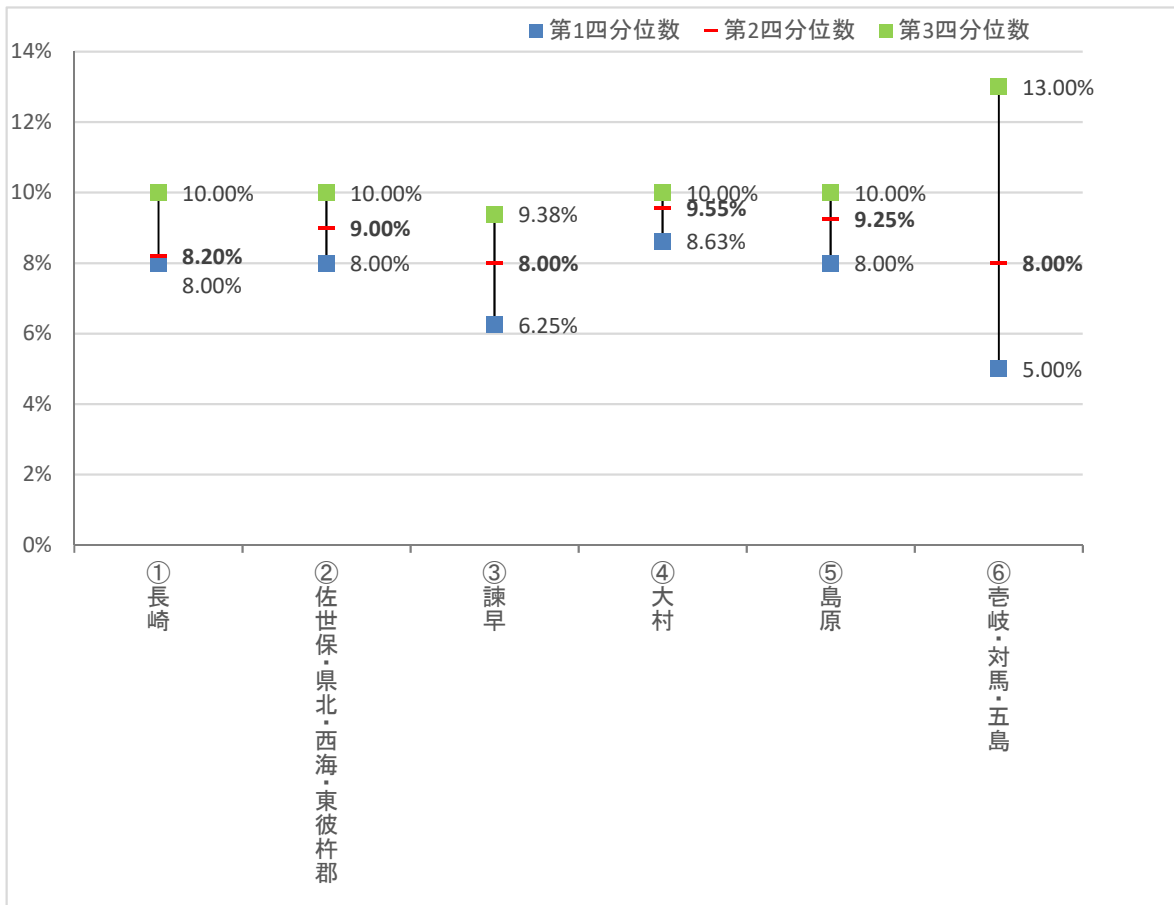
エリア	増加	横ばい	減少	不明	回答数合計	DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	8	46	20	76	150	-16.2	-14.5	-1.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	7	25	18	31	81	-22.0	-8.0	-14.0
③諫早	8	14	3	20	45	20.0	15.8	4.2
④大村	6	14	3	10	33	13.0	16.7	-3.6
⑤島原	0	6	4	16	26	-40.0	-75.0	35.0
⑥壱岐・対馬・五島	1	1	1	6	9	0.0	0.0	0.0

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H27.12	H28.6	H29.6	H30.6
①長崎	-33.3	-21.3	-14.5	-16.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-18.4	-5.4	-8.0	-22.0
③諫早	-17.4	18.2	15.8	20.0
④大村	25.0	-8.7	16.7	13.0
⑤島原	-64.3	-42.9	-75.0	-40.0
⑥壱岐・対馬・五島	-100.0	0.0	0.0	0.0

【問6】

築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り（＝全室入居を前提とした年間賃料総収入÷物件成約価格）は平均何%位でしょうか。



エリア	第1四分位数	第2四分位数 (全データの中央値)	第3四分位数	回答数
①長崎	8.00%	8.20%	10.00%	75
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	8.00%	9.00%	10.00%	38
③諫早	6.25%	8.00%	9.38%	16
④大村	8.63%	9.55%	10.00%	16
⑤島原	8.00%	9.25%	10.00%	10
⑥杵岐・対馬・五島	5.00%	8.00%	13.00%	3

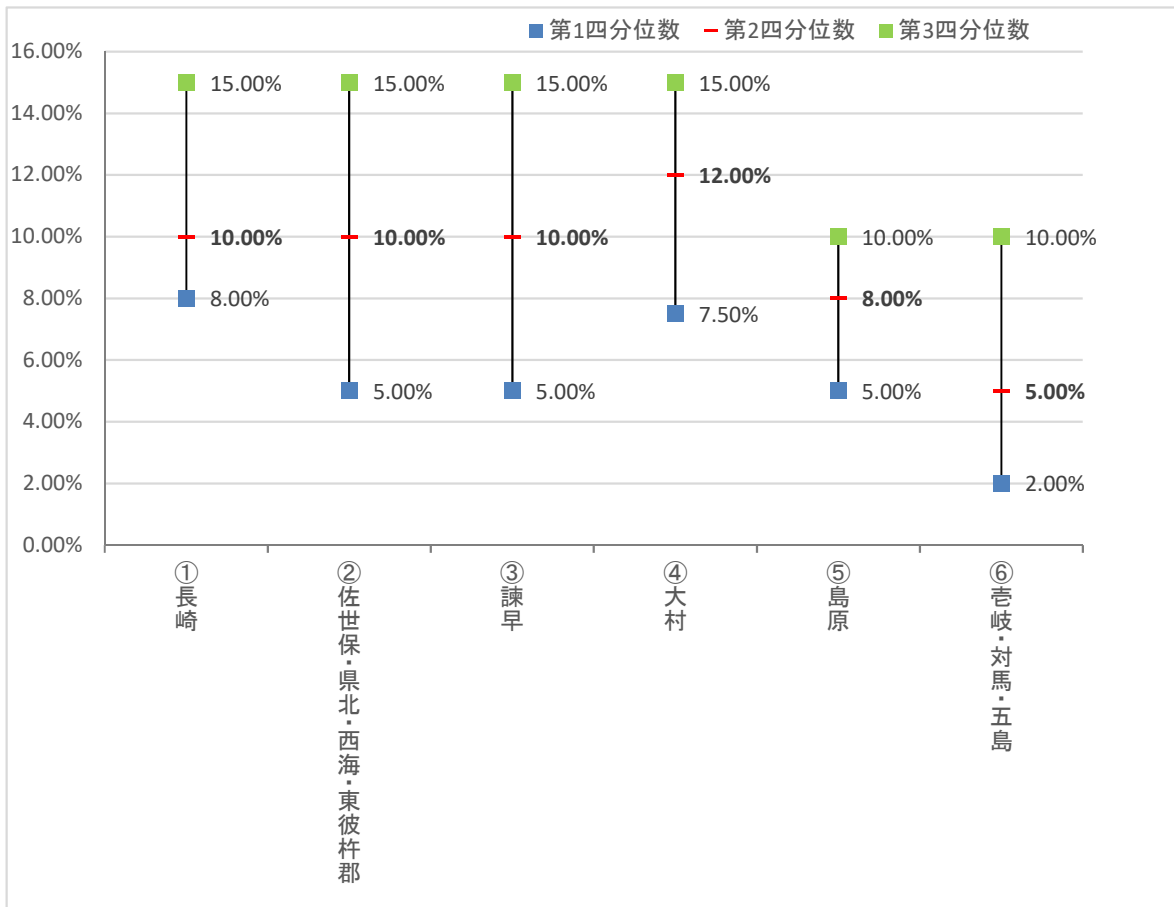
四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値をいう。小さい方から順に第1四分位数（第2四分位数より下のゾーンにおける中央値）、第2四分位数（全データにおける中央値）、第3四分位数（第2四分位数より上のゾーンにおける中央値）という。

過去から今回までの第2四分位数の推移

エリア	H29.6	H30.6
①長崎	8.00%	8.20%
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	9.00%	9.00%
③諫早	10.00%	8.00%
④大村	9.08%	9.55%
⑤島原	9.30%	9.25%
⑥杵岐・対馬・五島	13.00%	8.00%

【問7】

築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率は平均何%位でしょうか。



エリア	第1四分位数	第2四分位数 (全データの中央値)	第3四分位数	回答数
①長崎	8.00%	10.00%	15.00%	78
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	5.00%	10.00%	15.00%	40
③諫早	5.00%	10.00%	15.00%	17
④大村	7.50%	12.00%	15.00%	15
⑤島原	5.00%	8.00%	10.00%	10
⑥杵岐・対馬・五島	2.00%	5.00%	10.00%	5

四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値をいう。小さい方から順に第1四分位数(第2四分位数より下のゾーンにおける中央値)、第2四分位数(全データにおける中央値)、第3四分位数(第2四分位数より上のゾーンにおける中央値)という。

過去から今回までの第2四分位数の推移

エリア	H29.6	H30.6
①長崎	10.00%	10.00%
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	10.00%	10.00%
③諫早	8.50%	10.00%
④大村	10.00%	12.00%
⑤島原	8.25%	8.00%
⑥杵岐・対馬・五島	10.00%	5.00%



今回ご協力頂いた事業所一覧（順不同・承諾を頂いた事業所のみを掲載）

不動産柴田（有）
永和不動産
（有）浜田不動産
（株）山本不動産
（株）西海建設
（有）ネオペック
（有）メンテナンス長崎
グラバー不動産
（有）武蔵住宅
（株）ユー・エム企画長崎店
大和ハウス工業（株）長崎支店
丸吉不動産
（株）経営支援センター
（株）悟商
N・S不動産コンサルティング（株）
昭和住宅
（有）バルハウス
（有）やまたつ不動産
（株）三上住宅
長崎ハウスメイト（株）
セキスイハイム九州（株）西支社長崎支店
（株）プレイス不動産販売
（有）きよう土地建物
（有）明生興産
（株）信和ホッとハウス
（株）アール不動産
田園都市（株）
ひろせ不動産
（有）坂本興産
タマホーム（株）時津店
（株）ABC
（有）三葉住宅
（有）生活設備救急センター
ライフステージ（株）
カワグチ地建
南長崎地所
（株）賃貸倶楽部
（有）ホームプランモトキ
Forever Estate（有）
（株）ハートクリエイト
（有）マック
（有）浜福商会
（有）ひまわり不動産
デイリー不動産
あさひ住宅
（株）SEIBU
（株）ランドトラスト
イーリビング（株）
不動産カドムラ企画
新日本不動産（株）長崎支店
エステートギャラリーさくら（株）
（有）コジマ不動産
信愛不動産
（有）下屋敷
（株）谷川建設 谷川不動産
フジイ住研
クラウド住宅販売（株）

（株）文化不動産事務所
（株）ロングライフホーム
（株）グランドライン
菱重プロパティーズ（株）西日本支社
（有）松本総合事務所
（株）協同ライフ長崎
（株）福德不動産
（株）ルヴァン
ハウス流通（株）
宮川住研（株）
佐世保立地（有）
大鵬不動産
（資）井芹地所
（株）サム不動産
（有）リンクス
（有）富士不動産
（株）小川工務店
（株）シティ不動産
（有）サンコウホーム
（株）ユウキ
（株）山口住建工業
エースハウス（株）
（株）バードハウジング
（有）アイホーム
佐々不動産
（株）あんしん住宅 佐世保支店
（株）スカイホーム
（株）谷川建設佐世保支店
新日本不動産（株）佐世保支店
グローバル不動産
（有）ユーセイホーム
（株）朝日不動産経済研究所
ライツ不動産（株）
（有）タムラクレーン
（株）金納ホールディングス
（株）ダイシン
アトム不動産（株）
（有）愛光不動産
森塚不動産（株）
ラッキー不動産
（有）朝日土地建物
島田不動産
（有）駅前不動産
E. M. サービス
（株）池田建設エイブルネットワーク大村店
（有）相川不動産
（株）ミツワ不動産管理
（株）アオキ不動産
（有）十八不動産
かりん不動産
（株）琴花園
（有）とかい不動産
大村土地建物（株）
（有）三城土地建物
ヤマト不動産（有）
（有）堀川総本店
（有）大宝商事

大家不動産（株）
大成住宅
（株）ハート不動産
D o u b a r a 不動産
シモハマ不動産
（有）伸和設備工業
（株）太陽商事
やのハウス
（株）マルエイ
（株）ナカシマ不動産
大家不動産（株）諫早中央店
（有）中野不動産
（有）丸石産業
（株）池田建設
宮崎不動産
（株）ザ・ホーム
（有）アート不動産流通
（有）トラスト不動産
ミズキ不動産
（株）三長不動産
小浜不動産
（有）日建不動産
喜多不動産
（有）長崎不動産
（株）ホンダ不動産
中島建設（株）
（同）ライフプラン不動産
大久保不動産
第一不動産（株）
対馬不動産（株）
（有）千代田建設
（有）キャプテン西九州
（有）日本総合開発研究所日研
（有）田中米穀店・田中F P 不動産
昭和プランニング
大善不動産
（株）のぞみ
エコホームたけ
（有）あい緑化
（株）日東建設
永川建設（株）
田中建設産業（株）
（有）スマック二十一
わかしお不動産管理
（株）オリエントアイエヌジー
五島ライフデザイン
ひまわり不動産（有）
（株）第百不動産
川久保不動産
（有）佐々口工務店
アースコンサル（有）
白石建設（株）
（株）L & S グループ
（有）山内住建
むかい企画（株）
（有）プランニングイナオ
新生不動産（有）
長崎大建不動産（株）
（株）三愛

アーバンハウス
上五島建設（有）
（有）タサキ不動産
オビタ総合企画
嘉住庵
（株）そとわコーポレーション
（有）福井商事
晴和不動産
（株）千里企画
（株）藤本建設
（株）R I C C
タマホーム（株）長崎支店
ハウジングK
（株）ルーモエステート
ヤマト不動産（有）長崎支店
グッドホーム（株）
鴻池不動産
（株）ハウスDECO
東栄不動産（株）
山下総合事務所
菊地不動産
（有）さかい住宅
（株）川崎工務店
永代ハウス（株）
櫻不動産（有）
（株）大成住宅
（株）プラム
（有）木宮不動産商事
アサダ住宅産業
住吉商事（株）
ハウジングオフィス天神
（株）エステートリンク
（株）アオイ不動産
宅建総合企画
（有）ホーム商会
（有）スワン不動産
（有）アイエス企画
（株）賃貸倶楽部諫早店
芦塚不動産（株）
（有）西友ハウジング
多良見住宅
相互商事不動産
（株）ハウジングアシスト
ジスコ不動産（株）
一二三商事
（有）ニチエイ地所
（有）モリ不動産
（有）ティーエス不動産企画
東彼不動産相談所
（株）なるみライフサービス
エステイト・吉居